



この度、本校生徒に新型コロナウイルス感染症の感染者が発生したことにつきまして、保護者や地域の皆様には大変なご心配をおかけしました。また、休校期間中のご協力、本当にありがとうございました。生徒、教職員ともに、様々な対応に一層の注意を払い生活を送ることに努めてまいります。今後とも変わらぬ本校へのご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

学校再開

本日の学校再開にあたり、朝の全校放送で以下の話をしました。

また、スクールカウンセラーを今日から3日間緊急的に配置し、本日、各クラスで生徒の「心」のケアに係る時間を設けるとともに、全校生徒アンケートや生徒本人の希望によるカウンセリングも個別に実施していきます。

今日から学校再開です。通常の授業になりますが、依然として予断を許さない状況です。

学校は臨時休校時に先生方で丁寧に消毒を済ませていますので安心してください。しかし、生徒の皆さんは、これまでの感染防止対策を引き続きしっかりと継続してください。私も先生方に、決して気を緩めることなく生徒の皆さんの安全安心のために、これまでの取り組みを確実に丁寧に続けるようお願いをしています。

世界が、日本が、さらには大栄中学校がこのような状況になるとは誰も想像していなかったことでしょう。

臨時休校の期間、生徒の皆さんも学校生活から遠ざかり、友だちや先生にも会えない寂しさや、不安な日々を家庭で過ごすことを余儀なくされて、気持ちがめいってしまうような場面もあったと思いますが、この2週間を乗り越え、皆さんが登校できたこと、うれしく思います。

ここで思い出してほしいことがあります。臨時休校直前の全校朝会で、生徒会執行部が「**コロナ差別に負けない宣言**」をしてくれました。

- 第1条** コロナ感染者の人権を守ります。
- 第2条** 正しい知識を身につけ、偏見・差別をなくします。
- 第3条** コロナと戦うすべての人に感謝し応援します。

「経験を今後の糧にする」といいますが、是非、今回の経験で一層の感染防止が実践されるとともに、この宣言が、コロナ差別だけでなくあらゆる差別をなくすきっかけになるよう望んでいます。

苦しむ必要のない人を苦しめたり傷つけたりする言動はやめて、正しい情報に基づいて行動すること、お互いに思いやりの気持ちをさらに持つことができる大栄中学校生徒になっていくことに繋がっていくと期待して、学校を再開します。

新型コロナウイルスに打ち勝つまで、いかに共存するか

昨年度の「学校だより」でも書いたことですが、社会の変化は複雑で予測困難となってきています。まさに現在も予断を許さない新型コロナウイルスは感染拡大が続き、ニュースで報じられる度に我々は不安と恐怖に駆られてしまいます。普段、私たちは人間関係、組織、制度など精巧に仕組まれた社会システムの中で平穏な毎日を送っていたのです。しかし、有事になるとガラリと社会が不安定になり、言いようのない恐ろしさを感じてしまいます。人間の自己防衛本能は、時として自らの生存を脅かす存在に対して厳しく非難するなど攻撃的な心理へ誘う危うさを持っています。このような心理をどのように克服していくのが、私たちが社会の秩序を維持できるかどうかの最も重要なポイントになってくるのではないかと思います。今なお多くの方が感染のことで不安な気持ちを抱えています。そして、人々の信頼感を弱め社会の繋がりが壊されていくことが懸念されます。不安を不安として、恐怖を恐怖として「あるがまま」に見つめ、受け入れていく以外にないのではないかと思います。そして「**事実**」と「**証拠**」に基づき肅々と行動する。不確かな情報や思い込みを広げず、お互いの立場や気持ちを理解しようとし、人との繋がりを保つことが大切だと思っております。そして、こうした心の姿勢こそ今後の世界で求められるものではないでしょうか。ワクチンが順次接種予定ですが、多くの人に行き届くには時間がかかるようです。学校が日常を取り戻すまでには、まだまだ時間を要します。しかし、この戦いに負けるわけにはいきません。現状においても、様々な関係の相互の絆を工夫しながら絶やすことなく、ウイルスに打ち勝ったとき、各種交流が以前にも増して活発となり絆がさらに深まることを心より願っています。

学校経営方針 その1

本来でしたら、PTA総会の場において、今年度の学校経営方針をお伝えするところでしたが、現在の状況を踏まえて中止となりましたので、紙面にてお伝えします。ホームページにも掲載していますので、ご覧いただけますと幸いです。

変化の激しいこれからの社会を生き抜くために、時代は変化しても、「知」「徳」「体」のバランスのとれた力を育成することが重要です。本校の学校経営方針はこの3つに「地域連携」を加えた4本柱としています。

今回は「知」の部分の話です。義務教育を修了する3年時には、自らの進路を決定することが迫られます。生徒の可能性を広げるためには、学力の定着は欠かせません。日々のためめめ教師の授業改善はもちろん、家庭学習の充実も図り、自らの進路を切り拓く確かな学力を身につけることを目指しています。



本校では、平成25年度から「**5U(ファイブユニット)学習**」を取り入れています。これは教科の特性によって違いはありますが、50分の授業を右のように5つのユニットに分けて、ユニットごとの役割を明確にした授業展開により、生徒主導の授業を構築し、生徒の満足度を高めることで学力向上を図っています。対話や協働を意図的に仕掛けて深い学びへ繋げていけるよう先生方は日々の教材研究に熱心に取り組んでいます。左の写真はU3のグループ学習をしている場面です。タブレットを活用しながら班の中でお互い意見交換を行い、班としての考えをまとめている様子です。この後、U4の全体学習へ繋げていきます。(裏面に続く)

- U1…既存学習の定着（脳活学習）と課題の設定
- U2…個人での追求
- U3…ペア・グループ学習（協働学習1）
- U4…全体学習（協働学習2）
- U5…評価・振り返り+習熟度別学習（定着と発展）

5月行事予定表				
日	曜	校内行事	部活	給食
10	月		○	○
11	火	尿検査(全校)	○	○
12	水	内科検診(3年) 13:30 尿検査(全校) 職員会	×	○
13	木		○	○
14	金	とっとり学力・学習状況調査(1年)	○	○
15	土			
16	日			
17	月		教 育 相 談 週 間	○
18	火			○
19	水	内科検診(2年) 13:30		×
20	木	朝新聞		○
21	金	生徒総会(6限) 英語検定		○
22	土			
23	日			
24	月		○	
25	火		○	
26	水	内科検診(1年) 13:30	○	
27	木	全国学力学習状況調査(3年) 国・数	○	
28	金	校内授業研究会(理科) テスト前部活動停止	×	○
29	土			
30	日			
31	月	中間テスト 各種委員会	○	○
摘 要	船上山宿泊学習(1年)、野外活動(2年)は延期を検討中。6/3~5中部総体予選 6/6サマープラスコンサート 6/11同日参観日			

そして、多くの先生が、ICTを積極的に活用して生徒の活動時間を確保したり、写真や動画を活用したりするなど学習を深めるよう工夫をしています。

また、主体的な家庭学習の習慣化を図るため、「自学ノート」の工夫に取り組んでいます。「自学ノート」はこれまでも行ってきた取組ですが、昨年度からやり方を少し見直したところですが、授業でも毎授業「めあて」を明確にしていますが、家庭学習でも何をどのように取り組むのかというビジョンをはっきりさせてから始めることが大事だと考えています。「植物の器官の名前とはたらきを覚える」「20分間で20問解く」など、その日の家庭学習で注意することを自分自身で「めあて」として記載し、事前に意識することで、自分の弱点を知り、克服することに繋がると考えます。また、**学習の最後には必ずその日の勉強の振り返りを書く**というやり方です。できたことを知ることで自己肯定感が養われ、できなかったことを明確にすることで、次の課題発見とやる気に繋がればと考えています。本校の課題として、家庭学習不足が挙げられていましたが、アンケート結果などで改善傾向にあると感じています。

ご家庭でも、この2点について確認していただけたらうれしいです。

部活動発足！ 部活動を通して・・・

4月22日(木)に部活動発足式を行いました。部長あいさつ、新入部員を含めた全員の自己紹介、顧問の先生からの話の後、早速、新たな体制で活動がスタートしました。



部活動は、目標を共有し、自主性を育み、心を鍛え、技量を高め、礼儀やマナーやそれを実践することの尊さを学び、人間関係力を育てる場です。特に、礼儀やマナーについて、これまで試合会場に行くとマナーの悪いチームに出会うことが残念ながらありました。大栄中学校で育てたいのは、礼儀やマナー、態度を身につけ、他校からも目標にされ尊敬されるチーム・生徒(選手)です。また、学校生活の大部分は学級や学年単位で活動していますので、年齢の異なる集団での活動は、人としての幅を広げることにもつながることも期待されます。自主的な活動を通じた心身の成長を教職員も支援していきたいと思えます。

また、大会やコンクールに参加するだけなら努力は必要ありません。一つでも勝ちたい、上位の大会に進出したいという目標を持てば、その実現に向けてチームメイトとともに努力を積み重ねることが必要になってきます。**目標を持つことは努力の「質」と「量」を決める**のです。そして、忘れてはいけないことは、勝つことが全てではなく、そこに至るまでに何をしたのかということです。その部分を部活動で大事にしたいと考えています。**部活動を通して何を学んだのかが大事**なのです。

<お知らせ>

休部となっていた男子バスケットボール部が活動再開となったため、次のように顧問を変更します。

- 男子バスケットボール部顧問：横山義紀先生
- 文化部顧問：山下佳美先生

※各部の年間活動計画については、ホームページの「部活動年間活動計画」に掲載しますのでご確認ください。

※大栄中学校ホームページで日々の学校生活の様子を紹介しています。<http://cmsweb2.torikyo.ed.jp/daiei/>

